



NPO法人

掛川国際交流センターだより

Takegawa International Center News

Vol.11 2014.3

掛川国際交流 フェスティバル開催!!

平成25年11月17日(日)掛川市生涯学習センターにおいて、掛川市主催NPO法人掛川国際交流センター及びJICA共催の掛川国際交流フェスティバルを開催しました。イベントの詳細は次頁にて。



ミニステージ

平成25年度掛川市日本語教室の報告

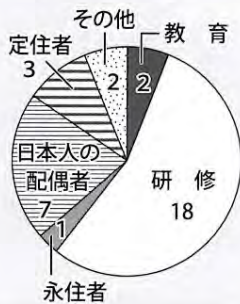
掛川市日本語教室では今年度も3期(各10回)の教室を開講し、延べ18か国240人を超える外国籍の方が受講しました。第3期は受講者の皆さんの協力を得て、アンケートを実施。「困っている、不安に思うこと」の欄には、地震や災害という意見が多く見られ、次いで教育・生活があげられました。「会話に不自由している」「ATMの日本語がわからない」といった具体的な意見も。またメッセージ欄には「丁寧に日本語を教えてもらい嬉しい」との感謝の言葉をいただきました。



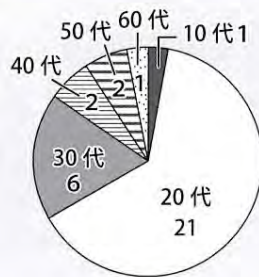
サポーターさんが活躍する文字クラス

日本語学習に関するアンケート (第3期掛川市日本語教室受講者33名)

①在留資格(人)



②年齢(人)



③母国で日本語を勉強していましたか(人)

学校で14	自分で14	しない4
-------	-------	------

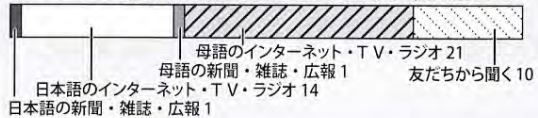
④家族とは何語を話しますか(人)

日本語4	母語20	両方4
------	------	-----

⑤会社では何語を話しますか(人)

日本語13	母語14	両方4
-------	------	-----

⑥ニュースや情報はどのように知りますか(人)複数回答可



外国につながる子どもたちのためのふゆやすみ勉強会を開催しました!



学習ボランティアさんと一緒に新年の書き初め

12月21日(土)に掛川市生涯学習センターで開催した外国につながる子どもたちのための「ふゆやすみ勉強会」では、毎年恒例の書き初めが行われました。今年は風邪のため子ども達の欠席が多く、ささやかな勉強会となりましたが、前半は学校からの宿題を学習ボランティアさんと頑張り、後半はのびのびと大きな文字で書写をしていました。

～追悼～ AFA 平松委員長

NPO法人掛川国際交流センター副理事長であり、AFA委員長を務めた平松亮道氏が昨年10月8日、亡くなられました。旧大須賀町での国際交流協会創設当時に始まり、現在の掛川国際交流センターへ引き継がれた「国際交流」へのご尽力は、掛川市の地域活性化に大変大きな力となりました。心より感謝するとともにご冥福をお祈り申し上げます。



主催／掛川市 共催／JICA・NPO法人掛川国際交流センター
掛川国際交流フェスティバル 開催!!
 平成25年11月17日(日) 掛川市生涯学習センター



掛川市では初めてとなる掛川国際交流フェスティバルは、外国人市民との共生まちづくり、国際的視野を持つ人材育成を目的として開催。市民と行政からなる実行委員会を立ち上げ、また同市内の企業・団体・個人の皆様にも協賛していただき、まさに掛川市全体で作りに上げたイベントとなりました。

当日は「見て、聞いて、味わって、学んで、世界とつながろう!」をテーマに、様々な催し物が設けられ、3,000人を超える日本人・外国人市民が来場。東アフリカ・ウガンダの子どもたちとカズンが共同制作した楽曲「The Pearl of Africa」を歌い上げた掛川西高校音楽部とカズンのステージや、世界の多様な文化に触れることのできる体験型プログラム、掛川にいながらにして外国気分を味わえる世界の料理コーナー、世界の雑貨や手作り品のショップなどに、子どもから大人まで多くの参加者が列をつくりました。

また外国人市民のための味噌汁づくり教室、煎茶教室、交通安全、防災体験などの体験コーナーにも、多くの方が参加していました。

和洋の音楽ステージでは、横須賀高校の郷土芸能、「アルパ」で演奏するパラグアイの音楽、世界の打楽器演奏、ボサノバやサンバなど、個性あふれるパフォーマーが会場を盛り上げてくれました。

天候にも恵まれたこの日、来場者は国籍を越えて多くの体験をし、地域での国際交流を楽しんでいました。



姉妹都市交流活動紹介

掛川市の姉妹都市を紹介するコーナーでは、米国ユージン市、コーニング市の産業や風土などを、写真やパネルなどでご覧いただきました。この日のためにコーニング市からはガラスの器や美しい写真が掛川市に贈られ、ユージンからは姉妹都市委員の方が来日してくださいました。また各市出身の市内A L Tのお二人にも



お手伝いいただき、姉妹都市交流の素晴らしさを実感していただきました。

JICA in KAKEGAWA



大ホールではカズンのお二人や青年海外協力隊の大塚さんをお招きし、掛川西高音楽部の皆さんと音楽を通じてウガンダとの交流をはかるKAKEGAWA×UGANDAプロジェクト特別ステージを開催。音楽部の練習から当日の様子は、メッセ

ージと共に後日ウガンダの子どもたちへと届けられます。

また過酷な国際状況を多くの人に感じてもらおう写真展や各国の文字や楽器などの文化体験ができるコーナー、シニア隊員によるブラジルについてのお話会が行われ、多くの来場者が世界の現状について考える機会となりました。



KICの コーナー

KICではご家族やお友達同士で、世界を身近に感じていただける4つの体験コーナーを開催し、掛川市の「姉妹都市交流活動紹介」をお手伝いしました。また、外国人市民のための味噌汁づくりやおいしいお茶の淹れ方講座には、掛川市日本語教室の受講生がたくさん参加し、興味深く日本文化を学んでいました。

◆ 民族衣装を着てみよう！！

アジア、アフリカ、南米の民族衣装のほか、日本の打掛け、浴衣などをそろえ、来場者の皆さんに自由に選んで試着していただくコーナー。国籍を問わず大勢の方が母国以外の民族衣装にトライ。人気のインド・サリーは、インド出身の市民ボランティアにお手伝いいただき、美しく着ることができました。みなさん、大満足といった様子で写真を撮り、異文化体験を楽しんでくださいました。



♥ 絵本で世界をひとめぐり

世界のいろんな国の書籍や絵本を展示し、ミニ図書館を開きました。様々な言語で読み聞かせを行ったり、絵本の主人公の生活を体験しようとアラビア、モンゴル、アンデス、極北の生活道具に実際に触れながら世界をひとめぐり。たくさんのご家族でにぎわいました。中には母国語で書かれている絵本を、熱心にお子さまに読み聞かせするお父さんの姿も。また、外国の衣装や学用品、楽器に興味を示す子どもたちの、きらきらした目が印象的でした。



♠ 私たちのおべんとうのひみつ

フェルトで作られた食材を使ってお弁当の食材をお買い物した後は、世界地図を広げて、その食材がどこから来ているのかを考えました。いちごはどこから来ているの？という質問には、思わず「掛川！！」という声。日本で生産されている食材にも、目を向けることができました。

また、私たちの食卓にも馴染み深いエビの収穫は、小さな子どもたちの過酷な労働に支えられていることを聞き、感謝して食べる事の大切さを子どもたち自身の感想に聞かれました。国際理解の一歩となる講座でした。



♣ フィリピンの 星型クリスマス飾りを作ろう

工作室では午後からクリスマスのお話を聞きながら、星型のクリスマス飾り（パロル）を作るワークショップを行いました。今回の材料は竹ひごや紙ではなく、クリアファイルとホッチキス。思い思いに好きな柄のクリアファイルを5枚選び、立体的に星を作りあげます。カラフルなりボンの尾をつけて、個性的なパロルがいくつもできあがっていました。



フィリピンの
本格的パロル

今回皆さまからいただいた「フィリピンの星型クリスマス飾り」の製作費(8,500円)と募金(9,382円)は、静岡新聞社を通じフィリピンの台風被害への義援金とさせていただきます。皆さまのあたたかいご協力に感謝いたします。

PFA パシフィック委員会

第35次ユージン訪問 2013.9.21~27

松下一徳氏を団長に、今年は5名でユージン市を訪問しました。今年の特徴は、3名が再訪問者であったことです。中学の時に訪れたユージンにもう一度行きたい、そういった思いを持って行った人達がいきました。

31年のお付き合い 松下一徳

第35次訪問団として、ユージンを訪問させていただきました。31年前、中学2年生の時に初めて訪問団に参加したのがユージンとのお付き合いの始まりです。その後、ホストファミリーとの交流が続き、プライベートで度々ユージンへの旅を楽しませていただいております。そんな出会いが、その後の私の「進路を変えた」と言っても過言ではありません。英語やアメリカに興味を持ち、大学で英語を学び、アメリカ各地へ旅するようになったのも、この訪問団があったからこそ。今でも、家族のような存在の人たちと素晴らしい交流をさせていただいています。

この度の訪問団参加と31年前の参加とは、自分自身の環境も違われ、アメリカという国も大きく変わっていた気がします。異国の文化を見て、そこに住む人たちと交流することは、自身の成長に繋がると確信しています。この訪問団が永遠に続いていくことを祈念しております。



アメリカの父・母みたいな存在の
ピラス夫妻との再会

ユージン市民訪問団 掛川へ 2013.10.11~14

ユージン市の姉妹都市委員であるジム・ネブラー氏を団長に、10名のユージン市民が掛川に来ました。20才から80才までのメンバーで、7回目の掛川訪問という方もいました。

一行は、まず可睡齋で一泊し座禅や朝のお勤めの体験をしました。次に二泊ホームステイをしました。ホストファミリーと掛川祭りを見学したり、映画や買い物に出かけたり、それぞれが楽しく過ごし交流を深めました。



市長と



北中で情熱的な歌声に大感激!!



パーシー市長・姉妹都市委員会の
メンバーとともに

ユージン市との 交流のあゆみ

掛川市は米国オレゴン州ユージン市と昭和53年(1978)に姉妹都市交流を始め、本年度で35年経ちました。

この間、毎年派遣される市民訪問団としてユージン市へ行った人だけで述べ696人、掛川へ来た人は述べ436人になっています。そのほかにも、ユージン市へはビュートトゥビュートマラソンへの参加・学生サマーキャンプ・高校生訪問団などで、掛川へは小笠掛川マラソン参加・友人学園訪問団・国際青少年研修で、さらに個人旅行などで数多くの人との交流がありました。



第一次ユージン訪問 S53



平成12年 小笠掛川マラソン招待

AFA アトランティック委員会

コーニングの皆さんへ音楽でご挨拶



第23回コーニング市友好訪問団報告会

8月16日～24日、中高生と一般を含む総勢19名の姉妹都市友好訪問団がコーニング市を訪れました。報告会では、それぞれ、写真や興味を持ったもの、みやげ物などを披露し、興奮冷めない中にぎやかな発表となりました。7月に掛川を来訪した姉妹都市交流協会長ジョンさんとの再会を始め、多くの人との交流が中高生を一回り大きくしたように思います。

ラッキーなことに、コーニング市の後に訪れたニューヨークのヤンキーススタジアムでは“あの”イチローの4000本安打を生で観戦したとのこと!! 訪問がより思い出深いものとなったことでしょう。



お別れの朝

コーニングでのサプライズ

松浦莉子

今まで17年間生きていて、一番感動的な誕生日をむかえました。プールパーティーでの出来事。ホストファミリーのブルックが私に目隠しをして、その手が離れると目の前には大きなケーキとプレゼントが!そして会場にいた全員が集まっていました。最初はいろいろな不安がありましたが、英語で話すことだけがコミュニケーションではないとわかりました。また機会があったらコーニングに行き、ホストファミリーと一緒に過ごしたいと思います。



誕生日のサプライズ・ケーキ



プール・パーティー

市民ALT交流会 訪問団記事

10月26日、県内の公立学校で英語を教えているALT8名が「遠州横須賀ちっちゃな文化展」を訪れるとともに、市内の一般家庭に1泊ホームステイしました。歓迎会ではホストファミリーとALTが一堂に会して、日本のソウルフードおにぎりを各人で作る「おにぎりパーティー」を開催。ALTは日本の伝統的な具材に臆することなく挑戦し、にぎやかなパーティーとなりました。横須賀街道での文化展見学も大変好評でした。

ウェルカム・パーティーにて▶



◀ちっちゃな文化展を散策

GEA 地球市民委員会

大東市民交流センターまつりに参加しました!

12月8日(日)第5回大東市民交流センターまつりが行われました。

今回、地球市民委員会はパネルのみの展示でしたが、訪れた市民の中にはホストファミリーに関心を持つ人もいて、ホストファミリー登録をお願いしました。

また展示の中で、「どれに一番関心を持たたか」の問いに関しては、姉妹都市交流とワールドクッキングをあげていた人が多かったです。



World Cooking

ワールドクッキング



3月16日(日)に開催のワールドクッキングを紹介します。このクッキングは、毎回、在住外国籍の方に母国の料理を作っていたく人気の講座。今回はブラジル料理を作ります。タルトサルガド(Torta salgada)は鶏肉を使った塩味のタルト。鶏のささ身、玉ねぎ、トマト等を使ったオープン料理でパンのような食感です。またデザートには旬のイチゴを使い「フルーツムース」を作ります。

タルトサルガド 鶏肉のタルト

Cooking Recipe

◇材料(21cmの型1個分)

鶏肉ささみ 約200g ミックスベジタブル 200g
 玉ねぎ 1.5個 ほうれん草 150g
 にんにく 2粒 塩、こしょう 少々
 トマト 2個
 オリーブオイル(またはサラダオイル) 大さじ2

◇生地

卵 2個
 牛乳 250cc
 サラダオイル 200cc
 とろけるチーズ 3枚
 小麦粉 200g
 ベーキングパウダー 大さじ1

◇作り方

- ①鶏ささみを茹でてさく(火を通すのは電子レンジでもOK)
- ②トマト、玉ねぎ、にんにくをみじん切り
- ③フライパンにオリーブオイル(又はサラダオイル)でにんにく、玉ねぎを炒め
 ①とトマト、ミックスベジタブル、ほうれん草を入れてさらに炒める。この時、塩、こしょうで味付けをする
- ④生地を材料をミキサーに入れて混ぜる
- ⑤型に④を半分入れて、そのあと③を入れ、さらに残りの④を入れる
- ⑥180度のオーブンで約40分焼いたらできあがり～
 ※具はお好みで変えてもOKです!



◆知り合いの外国人でワールドクッキングの講師をお願い出来る方がいらっしゃいましたら、KICまでご紹介ください。◆

◆KIC会員入会のお願い◆

私たちの活動は、掛川市からの委託金のほか、会員の皆さまからの会費で成り立っています。お寄せいただいた会費は、掛川市の国際交流、国際理解、在住外国人支援などの活動のために活用させていただきます。皆様のご協力をお願い致します。

年会費

正会員 3,000円(個人)/10,000円(団体)
 賛助会員 2,000円(個人)

特典 ●各種講座・イベントへの優先的参加及び参加費割引
 ●交流会への参加 ●会報誌(年2回)の郵送

※詳しいお問い合わせ・お申し込みは、直接事務局まで。

ボランティア登録のお願い

KICの活動には、多くのボランティアの皆様が活躍いただいております。年会費等はありません。HPからもご登録いただけますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

※詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

NPO法人掛川国際交流センター
 〒436-8650 掛川市長谷1-1-1 掛川市役所2階テラス
 TEL & FAX: 0537(24)5595
 発行日/平成26年3月
<http://kakegawa-life.com/>

◆KICの活動を応援して下さる皆様 ◆敬称略・50音順◆

<団体会員>

掛川市観光協会
 掛川市体育協会
 掛川市日韓親善協会

掛川市日中友好協会
 掛川市農業協同組合
 掛川ロータリークラブ
 株式会社幸栄グラフィック

近藤歯科医院

松下金属工業株式会社
 <個人正会員> 56名
 <個人賛助会員> 155名